

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 5 日 作成

事務事業名		庁舎施設維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部 総務企画部 所属課 企画財政課 所属班 財政班	課長名 濱田 善也 担当者名 米澤 伸仁 (内線)
	施策	24	行財政改革の推進			法令根拠 合志市庁舎等管理規則	
	基本事業	90	公有財産の管理運営				
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 10 コスト削減優先度評価結果 6-6
		1	2	1	7	11041	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S57 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 ・合志庁舎及び西合志両庁舎施設等の機能を良好な状態で維持できるよう改修や修繕等を行う。 【業務の流れ】 ・施設や設備に破損や不具合が発生したときは、現場状況等を確認、安全確保等の保全処置を行うとともに、適正な修繕を行う。 【主な予算費目】 ・需用費(修繕費、施設修繕費)、工事請負費							

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・西合志庁舎障がい者等駐車場整備工事 ・合志庁舎空調設備(テラー)修繕工事 ・合志庁舎高圧交流負荷閉開器更新工事 ・合志庁舎消防用設備等改修工事 ・合志庁舎及びウィーブル前バス停屋根補修工事 ・その他庁舎機械設備等の修繕工事	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・合志庁舎空調設備改修計画策定委託 ・西合志庁舎エレベータ改修工事 ・その他施設改修工事
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・施設(合志庁舎、西合志庁舎) ・施設利用者(市民・職員)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 庁舎にかかる修繕件数 件 イ 庁舎にかかる工事件数 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・不都合なく安全に利用してもらう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 庁舎利用者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 施設の瑕疵による事故件数 件 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 普通財産のうち売却等の処分をした面積の割合 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	5,598	9,036	10,391	14,795	7,850	17,000	17,000		
	(A) 事業費計	千円	5,598	9,036	10,391	14,795	18,662	17,000	17,000		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4			
延べ業務時間	時間	600	1,175	1,000	1,250	1,000	1,000	1,000			
(B)人件費計	千円	2,382	4,677	3,980	4,975	3,980	3,980	3,980	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,980	13,713	14,371	19,770	22,642	20,980	20,980	0		
活動指標	ア 件 イ 件		27 21	38 5	30 1	31 13	30 3	30 3	30 3		
対象指標	ア 人 イ 人		105500	123266	123882	142558	124499	125115	125731		
成果指標	ア 件 イ 件		0	0	0	0	0	0	0		
上位成果指標	ア % イ %		0	0	0	0	10	10	10		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

・営繕業務として従来から行なわれており、施設規模の増大により業務量も増している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・厳しい財政状況の中、いかに施設の延命化を図るかが課題となっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・合併後、公共施設などの維持管理作業が疎かになったとの市民からの指摘も受ける。  
・厳しい財政状況の中、職員自ら維持管理に努め、経費節減に取り組むべきといった議会からの声もある。

事務事業名	庁舎施設維持管理事業	所属部	総務企画部	所属課	企画財政課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 不都合なく安全に利用してもらうことは、目的に沿って適正に管理され、有効に活用されていることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 庁舎は重要な行政財産であり、その維持管理は市が行う事業であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 対象意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 達成状態を維持するものとする。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 適正な修繕対応を疎かにすると事故等の発生が考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 修繕業務であり、事象が発生してから適切な対応のみである。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 修繕業務であり、最小限の人員で対応している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 行政財産の維持・修繕であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・達成状態を維持するものとする。 ・適正な修繕対応を疎かにすると事故等の発生が考えられる。 ・修繕業務であり、事象が発生してから適切な対応が常に求められる。 ・行政財産の修繕であり、公平・公正である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )